

令和4年度事業報告

基本理念「共につながり支え合い安心して暮らせるまち」

◆事業活動の内容

基本目標①みんなで支え合う地域づくり

- 施策の方向（１）福祉意識の醸成
（２）地域福祉活動の充実

社協だより、ウェブサイトを有効活用し情報を発信する

広報誌「たいわ社協だより」を年に4回発行。町内の関係福祉団体、施設の情報を広く発信しました。

発行月	5月・8月・11月・2月
発行部数	11,500部／4回
送付先	毎戸（区長配達依頼）、特別会員、町内関係福祉施設 県内市町村社協
編集委員会	6月8日・9月6日・12月6日・3月7日

発行事業費 835千円

赤い羽根共同募金（歳末たすけあい運動）の実施

10月～12月にかけて共同募金運動を実施しました。令和4年度はサロン活動等で必要な物資の配分とレクリエーション用品を購入しました。

赤い羽根共同募金実績	2,219,865円（戸別募金） 前年比： 87,660円 4,785円（個人・団体）前年比： △53,515円 2,224,650円（合計） 前年比： 34,145円
歳末たすけあい運動実績	2,215,535円（戸別募金） 前年比： △6,110円 102,782円（個人・団体）前年比： 1,402円 2,318,317円（合計） 前年比： △4,708円
サロン等地域活動物資の配分	サロン活動等で必要な物資を計画的に配分 （レク用品28件、映写機材等12件、 車いす等16件） レク用品購入「バックコー」、「すきやきじゃんけん」

<p>「住民力・地域力・福祉力を高める支援事業」 実施行政区</p>	<p>R 4 新規事業 吉田沢渡地区「カヤノ木ホテル保存会」 放流会・鑑賞会実施による交流の機会の拡大</p>
------------------------------------	---

まほろば夏まつりで関係団体と協力し共同募金のチャリティ活動の実施

民生委員児童委員協議会との共催により、8月7日開催のまほろば夏まつり会場でチャリティ活動の実施。

福祉教育事業の実施

小中学校からの依頼を受け、講師の仲介、グッズの手配

吉岡小学校

盲導犬ユーザーによる講話と視覚障害の体験

社協職員による視覚を使わない体験と講話

小野小学校

高齢者疑似体験セットによる高齢者の身体の特徴を体験

ボランティア入門講座の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

企業ボランティアの登録促進等

ボランティア保険加入啓発による登録の促進が図られた

子育てサロン「きらきら」・おもちゃ病院「ひまわり」等の支援

子育てサポーター養成講座（平成19年度～21年度）及びおもちゃドクター養成講座（平成21年度と24年度に開催）等のそれぞれの修了者で作る自主グループの活動を支援しました。

<p>歳末たすけあい運動募金配分の実施</p>	<p>配分委員会で活動助成金の配分を決定 子育てサロンきらきら 20,000円 おもちゃ病院ひまわり 20,000円</p>
-------------------------	--

ボランティア交流会の開催

本会に登録しているボランティアの活動再開の一助となるよう交流研修会を開催した。
3月23日宮城県障害者福祉センターにて講演及び施設内見学の移動研修 参加者27名

除雪ボランティアの実施

除雪が困難な高齢者や障がい者世帯等の除雪について、区長を通じ状況調査したが要請はなかった。

基本目標②人と人がつながる地域づくり

- 施策の方向 (1) 地域のつながりの強化
(2) 地域課題の解決に向けた体制整備

地域交流の促進（お茶飲み会「ひなたぼっこ会」、震災避難者交流会「ひまわりサロン」）

ひとり暮らし高齢者お茶飲み会「ひなたぼっこ会」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

震災避難者交流会「ひまわりサロン」は4月より活動を再開し、7月25日、12月19日に「ひまわりサロンコンサート」を実施しました。

ひとり暮らし高齢者等と地域との交流促進

サロン活動等と連携した「ミニ地域食堂」を開設し繋がり拡大及び調理ボランティアの育成については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

地域活動交流発表会の実施

保健福祉総合センターの交流ホールに、コミュニティ美術館を創設し町内で活動している個人・団体のみなさんが作った作品を紹介する展示コーナーを設置した。

工房ななつもり支援事業「カフェななつもり」の実施

工房ななつもりの通所者の支援や通所を検討している方の相談や見学の機会として実施しました。事業のPRとして社協だより No.129（8月発行）で事業活動記事を掲載しました。

開催日	4月から3月まで28回開催（毎月月末を除く水曜日）
活動実績	通所者延べ74名 登録外者延べ17名 内容：作品づくり、茶話会、レクリエーション、季節の行事

地域活性化事業（生き生きサロン支援事業）の実施

- レクリエーション体験会

感染対策を講じ、サロン活動再開に向けた支援を行うボランティアの育成及びサロン再開の一助として実施した。

7月20日・25日の2回開催 参加者53名

- 活動機材の貸出

生き生きサロン活動支援のため、活動機材を貸出（延べ13地区）

地域活動支援センターの運営

軽作業を中心とした障害者の自立促進と社会参加の機会の提供を図り、週4日開所しました。新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し通年で事業を実施しました。

通所者実績数	11名	前年比（△1名）
指導員数	4名（うち看護職員2名）	前年比（±0名）
延べ開所日数	187日	前年比（△1日）
延べ通所人数	744名 R3 738名	前年比（+6名）
主な活動内容	箸入れ作業、生活訓練、作品づくり、季節の行事	

事業費：町委託料 7,490千円

地域課題の解決に向けた体制整備

- 生活支援コーディネーターの配置

区長及び民生委員児童委員の改選に合わせ事業推進に向けた意見交換会を対象者別に2回実施した。

地域活動に関する広報誌「地域支え合い通信」を作成し、地域活動再開を後押しした。

地域訪問	117回	生き生きサロン他活動団体への訪問
会議等	99回	関係団体（区長会、民生児童委員、V友の会など）の意見交換会参加。その他生活支援体制整備に係る各種会議への参加。
連絡調整	145回	関係者間の情報共有の連携体制の強化を図った。

その他	198回	相談・打合せ、資料作成等
地域資源の発掘	118回	地域の活動、行事に出向き、地域・文化に触れた。
ネットワーク構築	151回	情報の共有による関係団体との連携を深めネットワークの構築に努めた。
ニーズ・資源の見える化、地域課題の提起	83回	サロン開催時の各種の出前講座等を通し、ニーズ・資源の見える化、地域課題の提起を行った。
多様な主体への働きかけ	30回	地縁組織等の地域活動の紹介や自主化支援、研修会への協力を依頼した。
ニーズとサービスのマッチング	19回	サロンの情報提供や地域の方を必要に応じた福祉関係機関へ繋いだ。
担い手の養成、サービスの開発	13回	地域の役員会や研修会を通し、生活支援の担い手の養成等を行った。
地域の支え合いづくりの推進	194回	「地域支え合い通信」等を活用し、他地区の活動紹介など、情報提供や活動へのアドバイスを行った。
その他業務の実施に必要なこと	114回	生活支援体制整備事業推進に係る必要な情報の共有や普及啓発の推進を図ったもの。

事業費：町委託料 5,968 千円

障害者相談支援事業の実施

有資格者の退職に伴い事業休止

基本目標③安心して暮らせる地域づくり

施策の方向（1）防犯・防災対策の推進

災害ボランティアセンター研修会の開催

災害ボランティアセンターの機能と役割、ボランティアの受け入れ準備や運営の関わりを学ぶことを目的に、大衡村社会福祉協議会との共催により 11月27日・3月4日、トヨタ自動車東日本(株)学園にて企業向け研修会を開催した。

ひとり暮らし高齢者への災害時非常持出し袋の配布

災害時の避難用持ち出し袋をひとり暮らし高齢者へ配布。対象者の調査は民生委員児童委員が行い、緊急連絡先を記入する連絡カードとあわせて平時からの備えに活用してもらいました。

令和4年度配布数	44セット
----------	-------

事業費：歳末配分 97 千円

民生委員児童委員協議会作成の災害時要援護者マップの活用

民児協作成の災害時要援護者マップを全体更新し、2月8日町へ一部寄贈しました。

基本目標④適切な支援が受けられる地域づくり

- 施策の方向
- (1) 相談支援・情報提供体制の充実
 - (2) 制度や福祉サービスの強化
 - (3) 自立した地域生活の構築

生活相談所の開設

困りごと・生活相談所を町の人権相談／行政相談に併設して開設しました。

開設日数等	12日（毎月第二木曜日）10：00～15：00 役場 101 会議室
相談者数・件数	13件 前年比：△5件 主な内容：財産、法律・人権、その他
相談員	6名（司法書士1名・民生委員児童委員5名）

配食サービスの実施

ひとり暮らし高齢者等を対象にした配食サービスを週3回実施。安否確認を兼ねて昼食弁当をお届けしました。

年間(延べ)件数	実施回数：147回	前年度比：+2回
	利用者人数：86名	前年度比：+35名
	配食数：5,047食	前年度比：+719食
献立会議の開催	調理活動を中止にしているため未開催	
従事ボランティア交流研修会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

事業費：町委託料 3,536 千円

日常生活自立支援事業の実施

認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等を対象に日常的な金銭管理、福祉サービス利用の助言などを実施しました。

年度末利用者数	認知症高齢者 5名 知的障害者 2名	前年比 (±0名)
相談受付件数	認知症高齢者 1名 精神障害者 1名	前年比 (△2名)
生活支援員数	3名	前年比 (±0名)
生活支援員との同行	10回	
保管内容	通帳 5冊 印鑑 3本	

事業費：県社協委託料 54 千円

生活安定資金・福祉資金の貸付

一時的な小口資金として生活安定資金の貸付を行いました。県社協の生活福祉資金の申請から償還事務の一部を委託事業として実施しました。

生活安定資金の貸付	貸付 4件 150,000円	前年比：△15件	△428,000円
	償還 40件 416,000円	前年比：△11件	△254,000円
生活福祉資金の貸付	2件	前年度比：+1件	

【生活福祉資金 コロナ特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）】（9月で受付終了）

緊急小口資金	23件 4,450千円
総合支援資金	68件 40,800千円
総合支援資金延長	17件 9,450千円
総合支援資金再貸付	58件 32,850千円

緊急用食料等支援事業の実施

貸付資金と組み合わせて緊急時の生活支援を実施しました。米、レトルト食品から利用者の生活状況に応じて弁当やパンを数日に分けて提供しました。（民生委員児童委員・福祉課・健康支援課・子育て支援課・包括支援センター・南部自立支援センターと連携）

利用者・支援回数	14世帯 27人へ提供
----------	-------------

事業費：21 千円

ミニフードバンク事業の実施

町内事業者の協力を得て、緊急用食料等支援事業と連携した食糧支援を実施した。

1世帯 3人へ提供 協力事業者：町内 4事業者より登録

福祉団体の活動支援（事務局）

団体事務局 団体の運営 事業の開催 会計処理	大和町民生委員児童委員協議会 大和町老人クラブ連合会 大和町ボランティア友の会 大和町遺族会（大和町遺族会吉岡支部含む） 大和町身体障害者福祉協会
---------------------------------	---

その他

地域福祉活動計画の推進

地域福祉活動計画の推進を目的に推進協議会（事業評価）を開催しました。

推進協議会の開催	令和5年3月23日（木）役場3階会議室
協議会委員構成	区長会／民生委員児童委員／シルバー人材センター ボランティア友の会／保健推進委員／老人クラブ 身障協会／子育てサロン、協議会／職業安定所 社会福祉法人／宮城県／宮城県社協／宮城大学

監査

内部監査	5月19日（木）
町監査委員監査	11月10日（木）

大和町保健福祉総合センター管理業務

センターの監視監督	241日	浴室管理の監督	0件
使用申請の受付	166件	蛍光灯等消耗品の交換	3件
点検等の立会い・鍵の受渡	0件	苦情・トラブルの対応	0件
その他（地震対応）	0件		

事業費町委託料：240千円